

# 人間科学科授業科目一覧

〈基本教育科目・教養演習科目・表現伝達科目〉

区分	授業科目	履修年次				単位数		卒業要件		
		1	2	3	4	必修	選択			
基本教育科目	教養演習科目	教養基礎演習A	◎				1	教養演習科目は、必修科目2単位を修得しなければならない。  表現伝達科目は、必修科目13単位及び英語表現科目の「応用英語Ⅱ」より2科目2単位を含め、合計18単位以上を修得しなければならない。		
		教養基礎演習B	◎				1			
	英語表現科目	基礎英語1A	◎				1			
		基礎英語1B	◎				1			
		基礎英語2A	◎				1			
		基礎英語2B	◎				1			
		基礎英語3A	◎				1			
		基礎英語3B	◎				1			
		基礎英語4A	◎				1			
		基礎英語4B	◎				1			
		応用英語ⅠA		◎			1			
		応用英語ⅠB		◎			1			
		応用英語Ⅱ-1A		○			1			
		応用英語Ⅱ-1B		○			1			
		応用英語Ⅱ-2A		○			1			
		応用英語Ⅱ-2B		○			1			
		応用英語Ⅱ-3A		○			1			
		応用英語Ⅱ-3B		○			1			
		ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅰ-1A		○			1			
		ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅰ-1B		○			1			
		ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅰ-2A		○			1			
		ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅰ-2B		○			1			
		応用英語Ⅲ-1A			○		1			
		応用英語Ⅲ-1B			○		1			
		応用英語Ⅲ-2A			○		1			
		応用英語Ⅲ-2B			○		1			
		応用英語Ⅲ-3A			○		1			
		応用英語Ⅲ-3B			○		1			
		ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅱ-1A			○		1			
		ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅱ-1B			○		1			
		ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅱ-2A			○		1			
		ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅱ-2B			○		1			
		ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅲ-1A				○	1			
		ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅲ-1B				○	1			
		ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅲ-2A				○	1			
	ALPS（英語特別選抜クラス）Ⅲ-2B				○	1				
	初習外国語科目	フランス語A	○				1			
		フランス語B	○				1			
		中国語A	○				1			
		中国語B	○				1			
		ハングルA	○				1			
		ハングルB	○				1			
		日本語A 注1)	○				1			
		日本語B 注1)	○				1			
		フランス語会話		○			1			
		中国語会話		○			1			
		ハングル会話		○			1			
スペイン語会話			○			1				
日本語表現科目		日本語表現法		◎			1			
		日本語表現技法			○		1			
情報処理科目	情報処理基礎A	◎				1				
	情報処理基礎B	◎				1				
	情報処理応用A		○			1				
	情報処理応用B		○			1				
	情報処理法1（統計分析）			○		1				
	情報処理法2（プレゼンテーション）			○		1				
	情報処理法3（グラフィックデザイン）			○		1				
	情報処理法4（プログラミング）			○		1				

注1) 「日本語A」「日本語B」の履修対象者は、留学生及び帰国学生に限る。

人間科学部

<基本教育科目・教養基礎科目・キャリア教育科目>

区分	授業科目	履修年次				単位数		卒業要件	
		1	2	3	4	必修	選択		
基本教育科目	人間理解	哲学	○					2	教養基礎科目は、 区分に関わらず22 単位以上を修得し なければならない
		心理学	○					2	
		宗教学	○					2	
		保健学	○					2	
		スポーツ1	○					1	
		スポーツ2	○					1	
		スポーツ3 注2)		○				2	
	文化・芸術理解	文学	○					2	
		音楽学	○					2	
		舞台芸術	○					2	
		映像文化 注3)	○					2	
		世界の美術 博物館学		○		○		2	
	社会理解	法学	○					2	
		政治と経済	○					2	
		社会学	○					2	
		社会思想	○					2	
		近現代日本史	○					2	
		情報学	○					2	
	日本国憲法		○				2		
	世界理解	文化人類学	○					2	
近現代世界史		○					2		
世界の文化と地域社会		○					2		
海外文化演習1 注4)		○					2		
海外文化演習2 注4)		○					2		
海外文化演習3 注4)		○					2		
海外文化演習4 注4)		○					2		
海外文化演習5 注4)		○					2		
国際体験演習1 注4)		○					2		
国際体験演習2 注4)		○					2		
国際体験演習3 注4)		○					2		
地理学			○				2		
国際関係学			○				2		
安全保障論				○		2			
現代の探求	日本社会の抱える諸問題	○					2		
	国際社会の抱える諸問題	○					2		
	生活と環境		○				2		
	科学技術と人間		○				2		
	先端科学の世界		○				2		
	現代社会とジェンダー				○		2		
	生命と倫理				○		2		
キャリア教育科目	キャリアのススメ	○					2	キャリア教育科目は、 必修科目2科目4単 位を含め、合計4単 位以上を修得しな なければならない。なお、 選択科目より修得し た単位は、教養基礎 科目の単位とみなす ことができる。	
	スタートアップ・インターンシップ 注5)	○					1		
	キャリアデザイン入門		◎			2			
	インターンシップ演習Ⅰ 注6)		○				1		
	キャリアデザイン			◎		2			
	インターンシップ演習Ⅱ 注6)			○			1		
	業界研究			○			2		
	就職実践演習			○			1		

注2)「スポーツ3」は、半期の授業と集中授業からなる。

注3)「映像文化」は、2時限連続で講義を行う。

注4)夏期・春期の集中科目。本学指定のプログラムに限る。

注5)「スタートアップ・インターンシップ」は複数回の授業と本学でのインターンシップからなる。

注6)「インターンシップ演習Ⅰ」「インターンシップ演習Ⅱ」は、夏期・春期の集中科目。本学指定の派遣先に限る。

＜専門教育科目：専門基礎科目・専門基幹科目＞

区分	授業科目	履修年次				単位数		卒業要件	
		1	2	3	4	必修	選択		
専門基礎科目	人間科学の基礎	◎				2		専門教育科目は、以下の要件を満たして合計78単位以上を修得しなければならない。但し、8単位までは、基本教育科目で修得した単位を専門教育科目に含めることができる。	
	人間学	○					2		
心理学概論	○						2		
基礎心理学	○						2		
平和・共生・人間	○						2		
人間科学基礎演習A		◎				2			
人間科学基礎演習B		◎				2			
社会心理学		○					2		
人間関係論		○					2		
臨床心理学の基礎		○					2		
臨床心理学の実践		○					2		
健康管理学		○					2		
スポーツ文化		○					2		
ヒューマン・サービス論		○					2		
社会福祉入門		○					2		
家族社会学		○					2		
多文化と宗教		○					2		
専門教育科目	カウンセリングの基礎		○						①専門基礎科目は、「人間科学の基礎」「人間科学基礎演習A」「人間科学基礎演習B」を含め12単位以上を修得しなければならない。 ②3・4年次において専門ゼミ科目8単位を修得しなければならない。 ③4年次において卒業論文・卒業制作8単位あるいは専門特別講義科目8単位を修得しなければならない。 ④基本教育科目で修得した46単位を超える単位については、8単位を上限に専門教育科目の単位とみなすことができる。 ⑤グローバル・コミュニケーション学部、現代経営学部の専門教育科目を履修した場合、合わせて24単位までを人間科学科の専門教育科目の単位とみなすことができる。
	カウンセリングの応用		○						
	家族心理学1（家族の問題）		○						
	家族心理学2（家族カウンセリング）		○						
	統計学		○						
	心理・社会統計学		○						
	ピアカウンセリング		○						
	非行心理学		○						
	犯罪心理学		○						
	臨床心理学研究1（基礎）		○						
	臨床心理学研究2（応用）		○						
	からだの仕組みと運動		○						
	スポーツ心理学		○						
	身体運動のメカニズム		○						
	トレーニング科学		○						
	コーチング論		○						
	スポーツ4		○					1	
	テニスの基礎理論		○					2	
	子ども学		○					2	
	障害児保育概論		○					2	
	保育体験		○					2	
	生涯発達心理学1（人間の一生と発達）		○					2	
	対人行動とコミュニケーション		○					2	
	犯罪学入門		○					2	
	犯罪学応用		○					2	
	多文化共生論		○					2	
	マイノリティ論		○					2	
	ジェンダー論		○					2	
	社会調査の基本		○					2	
	心理学研究法		○					2	
	心理学実験演習		○					2	
	心理検査法		○					2	
	臨床心理学演習		○					2	
	認知心理学		○					2	
	記憶心理学		○					2	
	情報処理心理学		○					2	
	組織心理学		○					2	
	職場の心理学		○					2	
	生理心理学		○					2	
	コミュニティ心理学		○					2	
	精神保健		○					2	
	スクールカウンセリング		○					2	
身体論		○					2		
運動・スポーツ指導論		○					2		
運動・スポーツ指導の実践		○					2		
栄養学		○					2		
レクリエーションの理論と実践		○					2		
スポーツカウンセリング		○					2		
スポーツマネジメント		○					2		
スポーツマーケティング		○					2		
スポーツ5		○					2		
スポーツ6 注6)		○					1		
スポーツ7		○					1		
スポーツ医学		○					2		
社会体育理論と実践		○					2		
子どもと家族の健康		○					2		
子どもの発達と遊び		○					2		
乳児保育		○					2		
児童福祉		○					2		
地域福祉		○					2		
社会福祉原論		○					2		
ソーシャルワーク		○					2		
小集団とリーダーシップ		○					2		
キャリアカウンセリング		○					2		
生涯発達心理学2（発達心理学特論）		○					2		
教育心理学		○					2		

注6) 「スポーツ6」は、夏期の集中科目。

＜専門教育科目：専門基幹科目・専門ゼミ科目・専門特別講義科目＞

区分	授業科目	履修年次				単位数		卒業要件	
		1	2	3	4	必修	選択		
専門教育科目	専門基幹科目	保育理論研究			○			2	
		保育実践研究			○			2	
		被害者学			○			2	
		共生社会論1（若者とキャリア）			○			2	
		共生社会論2（多文化共生への道）			○			2	
		社会調査の設計			○			2	
		紛争解決論			○			2	
		家族・子どもと法			○			2	
		社会参画とボランティア			○			2	
		社会貢献とNGO・NPO			○			2	
	社会調査とフィールドワーク			○			2		
	フィールドワークの方法と実際			○			2		
	専門ゼミ科目	心理・カウンセリングゼミⅠ-1			○			4	
		心理・カウンセリングゼミⅠ-2			○			4	
		心理・カウンセリングゼミⅠ-3			○			4	
		心理・カウンセリングゼミⅠ-4			○			4	
		身体と健康ゼミⅠ-1			○			4	
		身体と健康ゼミⅠ-2			○			4	
		身体と健康ゼミⅠ-3			○			4	
		ヒューマン・サービスゼミⅠ-1			○			4	
		ヒューマン・サービスゼミⅠ-2			○			4	
		ヒューマン・サービスゼミⅠ-3			○			4	
		社会と人間ゼミⅠ-1			○			4	
		社会と人間ゼミⅠ-2			○			4	
		社会と人間ゼミⅠ-3			○			4	
		心理・カウンセリングゼミⅡ-1			○	○		4	
		心理・カウンセリングゼミⅡ-2			○	○		4	
		心理・カウンセリングゼミⅡ-3			○	○		4	
		心理・カウンセリングゼミⅡ-4			○	○		4	
		身体と健康ゼミⅡ-1			○	○		4	
身体と健康ゼミⅡ-2				○	○		4		
身体と健康ゼミⅡ-3				○	○		4		
ヒューマン・サービスゼミⅡ-1				○	○		4		
ヒューマン・サービスゼミⅡ-2				○	○		4		
ヒューマン・サービスゼミⅡ-3				○	○		4		
社会と人間ゼミⅡ-1				○	○		4		
社会と人間ゼミⅡ-2			○	○		4			
社会と人間ゼミⅡ-3			○	○		4			
卒業論文							8		
専門特別講義科目	臨床心理学特講1（グループ・アプローチ）			○			2		
	臨床心理学特講2（アクション・メソッド）			○			2		
	依存症と家族関係特講			○			2		
	依存症の専門的援助法特講			○			2		
	ロールシャッハ検査の基礎特講			○			2		
	ロールシャッハ検査の解釈特講			○			2		
	演劇と表現特講			○			2		
	身体と表現特講			○			2		
	ライフキャリア入門特講			○			2		
	キャリア開発特講			○			2		
	近代の哲学特講			○			2		
	現代の哲学特講			○			2		
	西欧文化の諸相特講			○			2		
	西欧文化と人間特講			○			2		
	量的データの解析特講			○			2		
	質的データの分析特講			○			2		
	日本文化と意識表現特講			○			2		
	日本文化と心的世界特講			○			2		
	食と健康特講			○			2		
	食と文化特講			○			2		
消費者の心理特講			○			2			
広告心理特講			○			2			
地域共生特講1（本郷）			○			2			
地域共生特講2（本郷）			○			2			

※履修年次の○は、卒業に必要な必修科目であることを示す。

※卒業に必要な単位数は124単位であり、GPA（Grade Point Average）が2.0以上なければならない。